

議第3号 令和5年度都留市社会福祉協議会事業報告及び決算の件

# 令和5年度 事業報告

社会福祉法人 都留市社会福祉協議会



# 目次

## 令和5年度事業報告

基本方針 .....	1
<b>社会福祉事業</b>	
<b>法人運営事業</b>	
理事会・評議員会 .....	2
つるの福祉発行 .....	3
非常災害基金事業 .....	3
<b>福祉活動推進事業</b>	
社会福祉大会事業 .....	4
歳末たすけあい事業 .....	4
地区社協支援事業 .....	4
民生委員・児童委員協議会への支援と助成事業 .....	4
地域福祉活動計画事業 .....	5
社会福祉資金貸付事業 .....	5
福祉バザー事業 .....	5
<b>ふれあいのまちづくり事業</b>	
都留市ボランティアセンターの運営 .....	6
都留市ボランティア連絡会の支援 .....	6
都留市ボランティアまつり .....	6
地区ボランティアコーディネーター設置事業 .....	7
災害救援ボランティア・福祉救援ネットワーク活動事業 .....	7
福祉教育推進事業 .....	8
ボランティア活動推進校事業 .....	8
ボランティア団体助成事業 .....	8
各種ボランティア養成事業 .....	8
総合相談事業 .....	9
ふれあい・いきいきサロン .....	9

いこいのひろば	10
福祉医療健康講座	10
老人の幸せの里づくり事業	10
おふくろの味・知恵袋交換会	11
都留市住民参加型有償在宅福祉サービス事業	11
福祉課・長寿介護課・健康子育て課・社会福祉協議会四者での意見調整・ 情報交換会	11
障がい者スポーツの振興	12
共同募金配分金事業	12
福祉サービス利用援助事業	13
<b>障害者社会参加促進事業</b>	
奉仕員等（点訳字奉仕員・手話奉仕員・朗読奉仕員）養成事業	14
点字・声の広報など発行事業	14
当事者組織の支援の実施	14
<b>在宅福祉推進事業</b>	
ふとん丸洗い事業	15
生活福祉資金貸付事業	15
地域ふれあい健康推進事業	16
おでかけ元気促進事業	16
福祉バス（みどり号）運営事業	17
善意銀行事業	17
社会福祉資基金事業	17
生活支援体制整備事業	18
障害者等相談支援事業	20
特定相談支援・障害児相談支援事業	20
法人後見事業	21
生活困窮者自立支援事業	22
地域福祉研究事業	23
都留市老人クラブ連合会事業	24

## 介護サービス事業

居宅介護支援事業（介護保険事業・介護予防事業・認定調査）	26
訪問入浴介護事業	26
訪問介護事業	26
介護予防軽度生活支援事業	27
介護予防・日常生活支援総合事業（訪問介護）	27
通所介護事業	27
生きがい通所サービス事業	27
重度障害者訪問入浴事業	27
介護予防・日常生活支援総合事業（通所介護）	28
自立支援居宅介護事業（居宅介護、行動援護、重度訪問介護、同行援護）	28
障害者移動支援事業	28
基準該当生活介護事業	29
養育支援訪問事業	29



# 令和5年度事業報告

## 基本方針

現在、わが国では少子高齢化と人口減少の進行とともに単身世帯の拡大、地域や家族などの共同体機能の弱体化が進み、孤独や孤立の状態にある人が増加する中でコロナ禍の影響が加わり、地域生活課題はさらに複雑化、複合化し、その課題は一層深刻化しているところであります。

このような中、都留市社会福祉協議会では、誰もが住み慣れた場所で安心して暮らすことができる地域社会の実現を目指して、令和5年度から令和9年度までの5年間を計画期間とする「第3次都留市地域福祉活動計画」を策定いたしました。この計画は、第2次計画策定以降の社会情勢の変化や、都留市における地域福祉を取り巻く現状等を踏まえる中で、子どもから高齢者まであらゆる世代の方々が、これまで以上に安心して、いきいきと暮らしていけるまちを目指すとともに、5年後の本市の地域福祉のあり方を見据え策定したものであります。

令和5年度は、計画の1年目となりますが、都留市社会福祉協議会は、地域福祉活動推進の中核的組織として、これまで取り組んできた地域福祉活動の経験と実績を踏まえながら、地域住民やボランティア、民生委員・児童委員、社会福祉法人・福祉施設、NPO、企業、さらには福祉分野以外の幅広い関係者とめざす地域の姿を共有し、それぞれの力を発揮することで地域福祉が推進されるよう、「連携・協働の場」の創出とその活性化を図ってまいります。

また、市や関係機関などとの連携をさらに深め、地域福祉をより一層発展させるための諸事業に積極的に取り組み、地域住民や地域社会のために貢献してまいります。

# 社会福祉事業

## 法人運営事業

事業名	事業の具体的内容と目的
理事会・評議員会	都留市社会福祉協議会は地域福祉の中心的な推進役として社会福祉法に位置づけられています。 法人運営においては、事業全体の管理や組織の管理を行うための理事会・評議員会を中心に法人の健全経営に努めることを目的とする。
<b>事業実績</b>	
組織体制 理事 15 名／監事 2 名 評議員 18 名	
第 1 回理事会／令和 5 年 6 月 12 日（月） ○令和 4 年度都留市社会福祉協議会事業報告及び収支決算の件 ○役員候補者の選任の件 ○評議員候補者の選定の件	
第 2 回理事会／令和 5 年 6 月 26 日（月） ○会長、副会長及び常務理事の選定の件 ○評議員選任・解任委員会の委員選定の件 ○評議員選任・解任委員会運営細則中改正の件	
第 3 回理事会／令和 5 年 12 月 19 日（火） ○都留市社会福祉協議会会長選定の件	
第 4 回理事会／令和 6 年 3 月 19 日（火） ○専決処分の承認を求める件（第 1 号）（第 2 号）（第 3 号） ○令和 6 年度都留市社会福祉協議会事業計画（案）及び収支予算（案）承認の件 ○第 3 次都留市社会福祉協議会組織発展・強化計画（案）の承認の件 ○役員候補者の選任の件	
-----	
第 1 回評議員選任・解任委員／令和 5 年 6 月 12 日（月） ○評議員の選任の件	
-----	
令和 5 年度都留市社会福祉協議会定時評議員会／令和 5 年 6 月 26 日（月）  ○令和 4 年度都留市社会福祉協議会事業報告及び収支決算承認の件 ○役員の選任の件	
第 2 回評議員会／令和 6 年 3 月 27 日（水） ○専決処分の承認を求める件（第 1 号）（第 2 号） ○令和 6 年度都留市社会福祉協議会事業計画（案）及び収支予算（案）承認の件 ○第 3 次都留市社会福祉協議会組織発展・強化計画（案）承認の件 ○役員選任の件	



事業名	事業の具体的内容と目的
「つるの福祉」 発行 (1-1-2)	社会福祉協議会が実施する事業や相談活動、ボランティアや市民活動の支援、共同募金運動への協力など、様々な情報を広く市民に周知することを目的とする。

### 事業実績

社協だより「つるの福祉」を年4回発行

月	内 容
5月	カメラボランティア養成講座、災害支援ボランティア、福祉バス、令和5年度社協事業計画（社会福祉事業）、令和5年度当初予算、第3次地域福祉活動計画、社会福祉協議会会費のお願い、社会福祉大会、善意銀行、総合相談、ボランティア活動助成金、ボランティア活動保険、赤い羽根共同募金報告、配食交流会、畑楽もん、新しい食糧支援団体、手話奉仕員養成講座、介護事業所からのお知らせ、老連愛称決定、シルバー作品展、ゲートボール大会、絵手紙特集
8月	ボランティアまつり、都留ラインズクラブ車輛贈呈式、車輛貸出事業、職員採用、令和4年度都留市社会福祉協議会一般会費・特別会費・賛助会費、令和4年度決算報告、都留市社会福祉協議会新役員及び評議員の紹介、清掃ボランティアイベント、買い物ツアー、介護事業所からのお知らせ、地域差別相談員、善意銀行、総合相談、視覚障がい勉強体験会、福祉バザー、布団乾燥、都留パートナーの会お詫びと訂正、紹、ありがとう花束の会、老連旅行、都留市ゲートボール大会、シルバー作品展、絵手紙特集
11月	高校生災害ボランティアスクール、防災訓練、赤い羽根共同募金、クリーンレバレッジツル、福祉医療健康講座、善意銀行、心配事相談、介護事業所からのお知らせ、日常生活自立支援事業、フードドライブ布団丸洗い事業、老連報告、高齢者作品展、福祉バザー、絵手紙
2月	子ども食堂、フードバンク、福祉バザー、福祉医療健康講座、社協役員研修、市社会福祉大会、県社会福祉大会、全国社会福祉協議会、ふとん丸洗い、東部地域高齢者作品展、おさらい会、介護事業所からのお知らせ、日常生活自立支援事業、善意銀行、総合相談、老連 PR、障がい者スポーツ交流会、生きがい買い物ツアー、共同募金、絵手紙

事業名	事業の具体的内容と目的
非常災害基金事業	社協の事業の円滑な運営を図るため、非常災害基金を設置する。基金は災害により生じた経費の財源又は災害により生じた減収を補填するための財源に充てる。また、緊急かつ必要やむを得ない大規模な事業の経費に充てる。

### 事業展開

災害により生じた経費の財源又は災害により生じた減収を補填するため、また、緊急かつ必要やむを得ない大規模な事業の経費に充てるため、利息を積み立てた。

## 福祉活動推進事業

事業名	事業の具体的内容と目的
社会福祉大会 事業 (1-1-9)	本市社会福祉関係者が一堂に会し、社会福祉の発展に功績のあった方々及び団体を表彰し、感謝の意を表するとともに、より一層の地域福祉活動の充実を図ることを目的とする。 地域福祉に関する講演等を実施する。
<b>事業実績</b>	
開催日	令和6年2月21日(水) 午後1時30分
会場	都の杜うぐいすホール 小ホール
内容	出席者 顕彰5名1団体、市長表彰3名1団体、社協会長表彰3名4団体、社協感謝状1団体、老人クラブ会長表彰3名、一般参加58名13団体
講演	このまちで最期までわたしらしく生きるために 講師：高木 宏明氏(諏訪中央病院 副院長)
事業名	事業の具体的内容と目的
歳末たすけあい 事業 (2-8-34)	80歳以上のひとり暮らし高齢者やねたきり高齢者に対して、一人3千円を贈呈し、歳末の買物の一助にしてもらうことを目的とする。
<b>事業実績</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 援護物資を支給 80歳以上の在宅ひとり暮らし老人世帯(427世帯)に現金3,000円、寝たきり老人(51世帯)にタオル・現金3,000円 (事業費：共同募金500,000円・市補助金703,000円・社協負担金248,210円)</li> </ul>	
事業名	事業の具体的内容と目的
地区社協支援事業 (3-11-56)	地区社協は、住民一人ひとりが社会福祉に参加して、地域の中の助け合いを育てていくための組織です。地区住民や、町内会・自治会、民生委員・児童委員、その他地区の各種団体から選出された代表者によって構成される住民組織です。地区社協は、生活上のいろいろな問題や課題について話し合い、問題解決のための活動や福祉の風土作りを進めていく活動を支援しそれぞれ地域に根ざした福祉活動の展開を図ることを目的とする。 活動費の助成と、市社協から地区担当職員を配置する。
<b>事業実績</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地区社協へ活動交付金を支給し、福祉活動を推進するため助成 7地区合計 1,735,800円</li> <li>・ 7地区社協それぞれに市社協の職員を配置し、連携を密に地域福祉活動を推進した。</li> <li>・ 都留市自治会連合会へ地区社協への協力を要請した。</li> </ul>	
事業名	事業の具体的内容と目的
民生委員・児童委員協議会への支援と助成事業 (3-11-57)	都留市民生委員・児童委員協議会事業の育成を目的とし、助成金を交付する。
<b>事業実績</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 都留市民生委員・児童委員協議会へ助成した。(189,187円)</li> <li>・ 市社協の事業説明及び各種事業実施にあたり調査や協力を要請した。</li> </ul>	

事業名	事業の具体的内容と目的
地域福祉活動計画事業（組織発展・強化計画含む） (3-13-62) (3-13-63) (3-13-64)	<p>地域福祉活動計画は、都留市に暮らす誰もが、より暮らしやすくなるような「地域社会」を住民自身の手で作り上げていくための計画とし、様々な立場の住民の声を聞き、浮かび上がってきた地域社会の課題を解決するために、具体的な行動を起していくことを目的とする。</p> <p>また、市社協を取り巻く環境は大きく変化しており、福祉ニーズも複雑化・多様化している。このような中、改めて市社協の使命を明確にした上で、市社協の経営理念・経営ビジョンを示し、その実現を計画的に図るため、都留市社会福祉協議会組織発展・強化計画を推進し、地域福祉活動計画を着実に推進する。</p>

#### 事業実績

- ・第3次都留市地域福祉活動計画推進会議を開催（年12回）
- ・第3次都留市社会福祉協議会組織発展・強化計画策定委員会（年1回）
- ・令和5年度第4回理事会において第3次都留市社会福祉協議会組織発展・強化計画策定について承認

事業名	事業の具体的内容と目的
社会福祉資金貸付事業 (2-5-18)	<p>1 一般貸付 生活困窮世帯に対し、一時的に資金を貸付け、生活意欲の助長と生活の安定を図ることを目的に50,000円以内を貸付する。</p> <p>2 高額医療費貸付(国民健康保険世帯) 高額医療費支給推定額80%以内で、最高限度額を300,000円とする。</p>

#### 事業実績

資金の貸付業務・相談業務を実施した。  
貸付世帯1件  
滞納世帯1件（残額4,000円）

	相談件数	貸付件数	貸付額
一般貸付	1件	0件	0円
高額医療費貸付	0件	0件	0円

事業名	事業の具体的内容と目的
福祉バザー事業 (3-12-61)	<p>市民の誰もが参加できる社会福祉活動として、市民の方より遊休品の提供を受け実施する。</p> <p>会場を旧旭小学校体育館に移し、令和5年11月25日（土）・26日（日）の2日間開催した。</p>

#### 事業実績

- 1日目レジ通過人数276名（前回361名）、協力者36名（前回42名）、福祉課3名、職員11名
- 2日目レジ通過人数139名、協力者18名、職員12名

寄付物品数 9,648点（前回11,521点 -1,873点）  
売上金額 951,100円（昨年1,024,800円 -73,700円）

## ふれあいのまちづくり事業

事業名	事業の具体的内容と目的
<b>都留市ボランティアセンターの運営</b> (1-1-1) (1-1-10)	<p>住民のボランティア活動への関心を高めるとともに活動参加へのきっかけづくりを進め、市民参加型の福祉社会を実現することを目的とし、都留市ボランティアセンターを開設し運営する。</p> <p>住民の主体的な地域活動への参加を促進するための相談窓口の開設、ボランティア養成、広報・啓発、情報提供、ネットワークづくり、コーディネート業務などボランティア活動促進全般の業務を行う。また、ボランティア・市民活動支援機能を強化するため基盤を整備する。</p>
<b>事業実績</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ボランティア相談 月～金曜日実施 相談件数 944 回</li> <li>・ ボランティア情報ボード 市内7カ所に設置</li> <li>・ ボランティアグループ・団体実態調査実施 年1回</li> <li>・ ボランティア活動保険加入手続き 年20件</li> <li>・ 貸館（いきいきプラザ都留内ボランティア活動室・点字音声図書館、相談室）200件</li> <li>・ 備品貸出し 年77回</li> <li>・ YOUTUBE、インスタグラムを活用した情報発信</li> </ul>	
事業名	事業の具体的内容と目的
<b>都留市ボランティア連絡会の支援</b> (1-1-4)	<p>ボランティア間の連絡、情報交換を行い、円滑なボランティア活動の推進と、地域福祉活動の進展に寄与することを目的とする都留市ボランティア連絡会の運営を支援する。</p> <p>都留市ボランティア連絡会の事務局機能を果たし、連絡会の運営を支援する。</p>
<b>事業実績</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ボランティア間の連絡、情報交換など円滑なボランティア活動の推進と地域福祉活動の進展を目的に支援した。                （総会：令和5年8月3日26名参加 理事会：年5回延べ43名参加、                連絡会：令和5年2月13日28名参加）</li> <li>・ 活動費助成 50,000円</li> </ul>	
事業名	事業の具体的内容と目的
<b>都留市ボランティアまつり</b> (1-1-5)	<p>市民一人ひとりが、ごく自然にボランティア・市民活動に参加できるきっかけづくり、意識啓発、交流できるイベントを開催し、都留市のボランティア・市民活動の輪をさらに大きくひろげ活動の活性化を図ることを目的とする。</p> <p>都留市ボランティアまつりを開催する。</p>
<b>事業実績</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第19回都留市ボランティアまつりを開催</li> </ul> <p>誰もが気軽に楽しみながらボランティア活動への理解と関心を高めるとともに、ボランティア相互の交流を通じて理解を深め、ボランティア活動の活性化を図った。</p> <p>（令和5年4月29日（土）開催 参加者1,500名）</p> <p>ふれあいステージ、交流・体験コーナー、食のコーナー、福祉ショップ、フリーマーケットコーナー、防災コーナー、展示コーナー、被災地復興支援活動コーナー、フィナーレ等を実施した。</p>	

事業名	事業の具体的内容と目的
<b>地区ボランティアコーディネーター設置事業 (1-1-6)</b>	<p>身近な地域の中で住民のボランティア活動への関心を高め活動参加へのきっかけづくりを進めるとともに、ボランティア活動の現状やニーズ等情報を収集し、円滑なボランティア活動の推進とコーディネート機能の向上を図ることを目的とする。 市内7地区にボランティアコーディネーターを設置する。</p>
<b>事業実績</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市内7地区に地区ボランティアコーディネーターを11名配置</li> <li>・ 地区ボランティアコーディネーター連絡会 年8回開催 延べ71人 市内各地区からの情報提供やボランティア活動推進について協議</li> <li>・ ボランティア情報ボードを活用し情報発信 年4回</li> <li>・ 各種ボランティア事業実施にあたり運営協力</li> </ul>	
事業名	事業の具体的内容と目的
<b>災害救援ボランティア・福祉 救援ネットワーク活動事業 (1-2-11)</b>	<p>大規模な自然災害が発生した場合に備え、平常時から住民の意識啓発活動、災害ボランティアセンター・福祉救援活動の基盤整備、災害時要援護者の支援体制づくりを目的とする。 都留市災害救援ボランティア連絡会、災害ボランティアコーディネーター研修、青少年災害ボランティアスクール、災害時要援護者支援班活動、防災ネットアマチュア無線クラブ、災害ボランティアセンター設置運営訓練等を行う。</p>
<b>事業実績</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大規模な災害発生時に、都留市地域防災計画に基づき都留市災害対策本部との協議を経て災害ボランティアセンターを設置し、被災者本位の救援・援助活動を効果的かつ迅速に行うため、平常時から関係者と災害ボランティアセンターの設置・運営に関する課題検討などを行い、災害時における活動の環境整備を図るため、都留市災害ボランティアセンター運営検討委員会を開催した。 (年1回、参加者1名)</li> <li>・ 都留市役所総務課危機管理担当と災害時の協力について協議した。</li> <li>・ セーフコミュニティ会議に出席(年1回、参加者13人)</li> <li>・ 例年9月に災害ボランティア活動促進を図るため、山梨県立都留興譲館高等学校・谷村地域協働のまちづくりと協働して高校生災害ボランティアスクールを開催。(講演1回、参加者500名、実技1回139名)</li> <li>・ 災害ボランティアセンターが行う被災地・避難所・その他の機関との情報伝達のボランティア活動として、防災ネットアマチュア無線クラブ活動を支援した。(年3回、延べ参加者30名)</li> </ul>	

事業名	事業の具体的内容と目的
福祉教育推進事業 (1-3-12)	児童・生徒の福祉・ボランティアに対する関心を高め、様々な体験活動を通じて社会連帯・ボランティア精神・福祉のこころを醸成するとともに、子どもたちを通じて家庭や地域へ啓発を図ることを目的とする。福祉のこころ醸成事業、学校からの相談援助業務を行う。
<b>事業実績</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校からの相談援助 年12回</li> <li>・都留市児童生徒連絡協議会活動支援 通年</li> </ul>	
事業名	事業の具体的内容と目的
ボランティア活動推進校事業 (1-3-13)	市内小学校及び中学校の児童・生徒が体験をとおして、社会福祉への理解と関心を高め、日常生活の中に相互扶助と社会連帯の精神を養うとともに、児童・生徒を通じて家庭及び地域社会の啓発を図ることを目的とする。 市内の小・中・高等学校12校を都留市ボランティア活動推進校として指定し、助成金を交付し活動を支援するとともに、相談援助業務を行う。
<b>事業実績</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内の小・中・高等学校12校を都留市ボランティア活動推進校として指定し、助成金を交付した。</li> <li>・都留市ボランティア活動推進校連絡会 見直しのため中止</li> </ul>	
事業名	事業の具体的内容と目的
ボランティア団体助成事業 (1-1-7)	地域の中で自主的に活動しているボランティア団体・グループが、活動を継続し、さらに発展していけるよう、支援することを目的とする。 1団体当たり5万円を上限に、活動費として助成金を交付する。
<b>事業実績</b>	
<p>1団体当たり5万円を上限に、活動費として助成金を交付した。</p> <p>ボランティアサークルひびきの会、共同菜園ボランティア畑楽もん、あすなろ学習会、こぐまクラブ、都留市読み聞かせボランティアこぶたの会、おもちゃ病院ムササビ、手話サークル千羽会、手話&amp;ステップニュークレイン、都留市防災ネットアマチュア無線クラブ、つるっ子プロジェクト実行委員会、コーヒーボランティアカフェキャマロード、「歌声のつどい」ボランティア、都留市ボランティア連絡会 13団体合計 648,821円</p>	
事業名	事業の具体的内容と目的
各種ボランティア養成事業 (1-1-3)	ボランティアニーズ・活動経験・参加意欲・年代に応じた各種講座を開催しボランティア活動を活性化することを目的とする。 ボランティア入門講座、青少年のボランティア体験、ボランティア講習会経験者編、在宅福祉ボランティア講座、中学生のボランティア体験学習など地域課題に即したプログラムで開催する。
<b>事業実績</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア入門講座 健康科学大学看護学部で実施 令和5年5月29日 25名参加。</li> <li>・クリーンレバレッジツル 健康科学大学看護学部と共同で開催 令和5年8月22日 41名参加</li> <li>・中学生のボランティア体験学習 見直しのため中止。</li> <li>・都留市ボランティア活動先進地視察研修 見直しのため中止。</li> </ul>	

事業名	事業の具体的内容と目的
総合相談事業 (2-5-15)	住民の暮らしの中の各種福祉相談に応じるとともに、関係機関との連携や福祉サービスにつなげるなど、適切な支援や助言を行い、課題解決に向けた取り組みを行う。また、司法書士による暮らしの中の身近な法律相談を行う。

#### 事業実績

- ・福祉の相談窓口  
相談日時：毎週月曜日から金曜日（祭日は除く）8時30分～17時15分  
対応：社協職員
- ・司法書士による相談会  
相談日時：毎月第1・第3金曜日 13時～16時
- ・福祉の相談会  
相談日時：毎月第1・第3水曜日 13時30分～15時30分  
相談員：社協職員

種類	開催日	開催日数	相談件数
福祉の相談窓口	社協稼働日	随時	765件
司法書士による相談会	月2回（金）	23回	42件
福祉の相談会	月2回（水）	21回	0件

事業名	事業の具体的内容と目的
ふれあい・いきいきサロン (2-8-27)	在宅の高齢者が気軽に集いお互いに交流を深め、地域の人たちとのふれあいの輪を広げるとともに、皆で支えあう地域づくりを目指し、身近な地域を拠点に、住民である高齢者とボランティアとが、それぞれの興味や関心に合わせて協働で企画をし、共に運営する仲間づくりの場をつくり、早期の介護予防活動の推進と地域ボランティア活動の促進を図ることを目的とする。 身近な地域におけるふれあい・いきいきサロン活動を推進する。

#### 事業実績

- 身近な地域を拠点に、ふれあい交流活動（レクリエーション等）、麻雀、健康づくり（健康チェック、相談、ストレッチ体操等）、趣味・文化活動（手芸、折紙、歌等）を実施した。
- ・ふれあい・いきいきサロン活動  
市内25か所 実施回数268回 延べ参加者4,958名
  - ・ふれあい・いきいきサロン交流会 10月13日  
保健師による健康講話、地域活性化起業人に体操教室、サロン同士の交流を行い、意見交換、情報交換を行う 参加者6団体

事業名	事業の具体的内容と目的
いこいのひろば (2-9-48)	障がいの有無に関係なく、地域の方々、障がいのあるの方々、学生が一体となり誰もが充実して楽しく過ごせるような地域づくりを目的とする。 いこいのひろばを定期的に開催する。

**事業実績**

例年、地域の人々、障がいのある人々、学生などが一体となり、誰もが充実して楽しく過ごせるよう、様々なクラブ活動やレクリエーション活動を行なった。  
5回開催：1・5・7・9・12月 計89名参加

事業名	事業の具体的内容と目的
福祉医療健康講座 (2-8-29)	都留医師会、都留CATV、山梨大学と協働し、「福祉・医療・健康」について市民と医師のディスカッション形式の対話集会を開催し、地域社会に対する福祉・医療の啓蒙・啓発活動に努めると共に、住民の病気予防活動につなげることを目的とする。

**事業実績**

11月12日(日) 都留文科大学6号館(THMC) 33名参加

ウィズコロナ  
テーマ with corona時代に生きる私たち

講義(1)「感染症に負けない生き方」

山梨大学医学部感染症学講座特任教授 井上 修

講義(2)「サイレントパンデミック ～薬剤耐性菌に負けないために～」

山梨大学医学部感染症学講座特任講師 鈴木 哲也

事業名	事業の具体的内容と目的
老人の幸せの里づくり事業 (2-8-30)	高齢者の生きがいづくりとして、各教室(民謡・詩吟・舞踊・大正琴・歌謡・囲碁・将棋・能楽)を開催し、介護予防や引きこもり防止につなげることを目的とする。 また、一年の活動の成果を発表する場として「ふるさと祭りおさらい会」を開催する。

**事業実績**

高齢者の生きがいづくり・社会参加のため、各教室を自主的に実施した。  
ふるさと祭りおさらい会を実施 令和6年3月15日(金) 参加者 84名

教室名	開催数	延べ参加者数
民謡教室	19回	97名
囲碁教室	21回	136名
将棋教室	19回	67名
舞踊教室	13回	110名
大正琴教室	17回	116名
歌謡教室	11回	139名
詩吟教室	12回	87名
能楽教室	36回	245名

計 148回 計 997名



事業名	事業の具体的内容と目的
<b>おふくろの味・知恵袋交流会</b> (1-4-14)	<p>高齢者のもつ様々な知識や技術を地域福祉活動に活かし高齢者の生きがいづくりボランティア活動の参加促進を図るとともに、世代間交流の輪を広げ、家庭生活に役立つ様々な生活文化を伝授しあいそれぞれの日常生活を豊かなものにするを目的とする。</p> <p>おふくろの味を伝授する料理教室や、生活の知恵を伝授する機会を設ける。</p>
<b>事業実績</b>	
<p>事業の見直しを図るため、未実施。</p>	
事業名	事業の具体的内容と目的
<b>都留市住民参加型有償在宅福祉サービス事業</b> (2-7-25)	<p>日常生活で困った時に地域の中でお互いに支え合い、誰もが自立した、より豊かな生活が送れるよう、住民が、支え合いの精神に基づいた主体的な参加と協力により、よりきめ細やかな福祉サービスを展開することを目的とする。</p> <p>住民参加型有償在宅福祉サービス「ささえあい・ホットサービス都留」を展開する。サービスを提供する有償ボランティア養成講座を開催し円滑に事業を展開する。</p>
<b>事業実績</b>	
<p>おおむね65歳以上の高齢者またはその家族、障害（児）者またはその家族、子育て中の家庭、ケガや病気等で一時的に生活に支障をきたしている方を対象に食事の援助、衣類の洗濯・補修、日常的な住居等の清掃、整理整頓、生活必需品の買い物、手紙等の代筆、朗読、話し相手、見守り、医療機関等との連絡、受診時の付添い、薬の受取り・服薬確認、簡単な身の回りの援助、外出介助（散歩、買い物付添、通院の付添等）、大掃除、粗大ごみの片付け、ゴミ出し、庭の草取り、庭木の剪定、子育て支援（家事援助）等、在宅福祉に必要なサービスを展開する。</p> <p>(利用会員：利用者数 12名 協力会員：協力者数 13名 延べ活動回数 107回)</p>	
事業名	事業の具体的内容と目的
<b>福祉課・長寿介護課・健康子育て課・社会福祉協議会四者での意見調整・情報交換会</b> (3-10-55)	<p>保健福祉センターいきいきプラザ都留の中にある、福祉課、長寿介護課、健康子育て課、社会福祉協議会の四者で情報交換・意見交換を行い、各々の使命・役割・事業内容を共有化し、市民にわかりやすく市の保健・福祉・介護・子育て関係の情報を提供するとともに、市民からの問い合わせや相談対応に関して、適材適所に結び付けるよう四者で連携することを目的とする。</p>
<b>事業実績</b>	
<p>福祉課、長寿介護課、健康子育て課と随時情報交換や会議を行った。</p>	

事業名	事業の具体的内容と目的
<b>障がい者スポーツの振興</b> (2-9-47)	障がい者団体・障がい者施設・デイケアなどとネットワークをつくり、障がい者同士の交流と地域住民の交流の場としてスポーツ交流会を開催し、スポーツの楽しさを通じて親交を深めるとともに相互理解を深め、共に生きる地域社会づくりをすすめることを目的とする。 グランドゴルフ交流会を開催する。
<b>事業実績</b>	
日時 令和5年11月11日(土) 午前9時～11時30分 場所 玉川グラウンド 参加者 計63名 都留市身体障害者福祉会14名、グラウンドゴルフ協会8名、みとおし17名、回生堂病院デイケア2名、むつみの家12名、視覚障害者協会都留支部2名、手話サークル千羽会5名、社協2名 ※感染症対策として、昼食無しの午前だけの活動とした。	
事業名	事業の具体的内容と目的
<b>共同募金配分金事業</b> (2-6-21) (3-12-58)	善意による住民の募金の配分金を効率的に利用し、社会福祉事業に役立てることを目的とする。
<b>事業実績</b>	
<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 赤い羽根共同募金運動               <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5年10月1日～令和6年3月31日 戸別募金、職場募金、大口募金とともに、歳末たすけあい運動を実施</li> <li>・令和5年10月1日、3日、4日、5日、8日、11日 計7か所で街頭募金を実施 206名参加 総合計4,214,372円</li> </ul> </li> <li>(2) 地域社会福祉事業               <ul style="list-style-type: none"> <li>・市社協広報誌「つるの福祉」発行事業 (199,000円)</li> <li>・社会福祉大会事業 (78,000円)</li> <li>・子育て支援サロン (47,000円)</li> </ul> </li> <li>(3) あったかサービス事業               <ul style="list-style-type: none"> <li>・独居老人等給食サービス事業 (谷村地区、宝地区合計100,000円)</li> <li>・ふれあいいきいきサロン事業 (東桂地区、禾生地区合計100,000円)</li> </ul> </li> <li>(4) 安心安全なまちづくり支援事業               <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害ボランティアセンター事業 (230,000円)</li> </ul> </li> <li>(5) みんなで地域を良くする事業               <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活支援ボランティア事業 (30,000円)</li> <li>・おもちゃドクター事業 (30,000円)</li> <li>・障害者サロン事業 (70,000円)</li> </ul> </li> <li>(6) 地域福祉活動事業               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア活動推進事業 (谷村第一小学校、谷村第二小学校、都留文科大学付属小学校、宝小学校、東桂小学校、都留第一中学校、都留第二中学校、合計275,837円)</li> </ul> </li> <li>(7) 小地域福祉活動事業               <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者と障害者への福祉活動推進事業 (東桂地区、宝地区、禾生地区 合計123,000円)</li> </ul> </li> <li>(8) 地域福祉活動団体推進事業               <ul style="list-style-type: none"> <li>・老人ゲートボール大会事業 (35,000円)</li> <li>・障害者運動会事業 (35,000円)</li> <li>・障害者ふれあいスポーツ交流会事業 (8,000円)</li> <li>・都留市ボランティアまつり事業 (46,000円) 令和5年4月29日 延べ84団体1500名来場(46,000円)</li> </ul> </li> <li>(8) 歳末たすけあい事業               <ul style="list-style-type: none"> <li>・歳末義援金贈呈事業 (500,000円)</li> </ul> </li> </ol>	

事業名	事業の具体的内容と目的
福祉サービス利用援助事業 (2-5-16)	都留・道志地区地域福祉権利擁護センター（都留市・道志村）の基幹社協として、道志村社会福祉協議会と連携し、様々なサービスを適切に利用することが困難な方（認知症高齢者・知的障害者・精神障害者）を対象に福祉サービスの利用援助、日常的金銭管理サービス、書類等の預かりサービスを実施し、できるだけ自立して生活が送れるよう支援することを目的とする。
<b>事業実績</b>	
<p>■担当地区日常生活自立支援事業実施状況（令和5年4月1日～令和6年3月末）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・問合せ・相談件数： 653件 （認知 201件、知的 212件、精神 155件、その他 85件）</li> <li>・契約締結件数：9名（認知症 4名、知的 1名、精神 2名、その他 2名）</li> <li>・契約終了件数：9名（認知症 6名、精神 2名、知的 1名）</li> </ul> <p>■実利用者数 24名（令和6年3月末）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・都留市 21名 道志村 3名</li> </ul> <p>■日常生活自立支援事業の広報・周知</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各協力社協より相談内容や件数を定期的に聴取</li> <li>・協力社協を訪問・電話連絡・パンフレットを送付することにより日常生活自立支援事業を周知</li> <li>・介護保険事業所の研修会に参加</li> </ul> <p>■日常生活自立支援事業の契約</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の自宅等を訪問し、調査・契約・支援計画・預かり書を作成</li> </ul> <p>■基幹的社会福祉協議会連絡会議への出席</p> <p>■契約締結審査会へ出席</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・困難事例について、各基幹的社協の案件を聞き、委員からの助言を参考に事業推進に取り組む。</li> </ul> <p>■専門員による各市町村協力社協への訪問、記録チェックケース記録、通帳コピー等との照合</p> <p>■契約終了に伴う手続き</p>	

## 障害者社会参加促進事業

事業名	事業の具体的内容と目的
<b>奉仕員等(点訳字奉仕員・手話奉仕員・朗読奉仕員)養成事業</b> (2-9-44)	障害者にとって最も身近な市町村において、ノーマライゼーション（障害のある人も家庭や地域で通常の生活ができるようにする社会づくり）の理念の実現に向けて、コミュニケーション支援、情報支援など障害者の需要に応じた事業を実施することにより、障害者の自立と社会参加の促進を図ることを目的とする。 手話奉仕員・点訳奉仕員・朗読奉仕員養成講習会を開催する。
<b>事業実績</b>	
点字奉仕員養成事業 ・点字奉仕員養成講習会(フォローアップ)を会員の状況から当面(数年)活動を控えることにしていたことと、新型コロナウイルス感染症の影響で開催できなかった。 手話奉仕員養成事業 ・手話奉仕員養成講習会(入門・基礎)を開催 (年 39 回開催、養成人員 12 名 修了人数 12 名)	
事業名	事業の具体的内容と目的
<b>点字・声の広報など発行事業</b> (2-9-45)	視覚障害者にとって住みやすい地域とは、全盲や高齢化に伴う弱視といった視覚障害者について正しい理解がすすみ、地域の情報や制度が適切に得られることである。地域の様々な情報を点訳・音声訳朗読などで視覚障害者にわかりやすく情報を届ける情報支援を行うことを目的とする。 広報つる、議会だより、つるの福祉、生活情報、行政情報を点字や声の広報にしてお届けする。
<b>事業実績</b>	
音声訳広報 ・広報つる (12 回発行) ・議会だより (4 回発行) ・つるの福祉 (4 回発行) 点訳広報 ・生活情報 (年 4 回実施)、行政関係資料 (年 15 回実施)	
事業名	事業の具体的内容と目的
<b>当事者組織の支援の実施</b> (2-6-23) (2-9-46)	ひきこもりや不登校の子を持つ親と本人が、社会から孤立することを防ぎ、お互いに悩みを分かち合い、共有し、連携することで相互に支えあい、地域で安心して生活できるよう当事者組織等の活動を支援する。 会員相互の親睦を図るとともに保健・福祉の増進を図り、豊かに人間らしく生きられるよう自立と社会参加をめざして活動を行う視覚障害者の当事者組織を支援することを目的とする。 山梨県視覚障害者協会都留支部の事務局を担当し、活動を支援する。
<b>事業実績</b>	
ありがとう花束の会（ひきこもりや不登校の方々と家族の会）の活動を支援した。年 12 回  会員相互の親睦を図るとともに保健・福祉の増進を図り、豊かに人間らしく生きられるよう自立と社会参加をめざして活動を行う視覚障害者の当事者組織を支援することを目的とする。 山梨県視覚障害者協会都留支部の事務局を担当し、活動を支援する。	

## 在宅福祉推進事業

事業名	事業の具体的内容と目的
ふとん丸洗い事業 (2-8-31)	在宅のねたきり老人世帯等に対し、ふとん丸洗い事業を実施することにより、健康で衛生的な在宅福祉の増進を図ることを目的とする。

### 事業実績

健康で衛生的な在宅福祉増進のため、在宅の老人世帯等に対し年3回ふとん丸洗いを実施した。

	8月実施	12月実施	3月実施	合計
実人数	22	21	18	61
枚数	40	39	35	114
リース利用件数	0	0	1	1

事業名	事業の具体的内容と目的
生活福祉資金貸付事業 (2-5-17)	<p>低所得者、障害者又は高齢者に対し、資金の貸付と必要な相談支援を行うことにより、経済的自立及び生活意欲の助長促進並びに在宅福祉及び社会参加の促進を図り、安定した生活を送れるようにすることを目的とする。</p> <p>また、令和2年度より新型コロナウイルス感染症対策として実施されてきた緊急小口資金等の特例貸付の償還が令和5年1月より開始されたことに伴い、県社協の窓口として償還に関する相談支援業務を行う。</p>

### 事業実績

生活福祉資金相談件数

	延相談件数	貸付件数	貸付額
件数	106件	1件	200,000円

山梨県社会福祉協議会が実施した緊急小口資金特例貸付及び総合支援資金特例貸付に係る相談支援業務

相談支援実績	延相談件数	男性	女性
特例貸付	31件	23件	8件

主な相談内容

相談内容	人数
特例貸付の償還	9
特例貸付の免除	10
貸付制度にかかわらない困りごと	1
資金制度や申請に関する問い合わせ	11
合計	31

事業名	事業の具体的内容と目的
地域ふれあい健康推進事業 (2-8-36)	都留市内の7地区（谷村地区、三吉地区、開地地区、東桂地区、宝地区、禾生地区、盛里地区）において、地域住民主体による介護予防活動の展開を図ることを目的とする。 地域ふれあい健康事業を行う。

#### 事業実績

都留市内5地区において、地区社会福祉協議会や協働のまちづくり推進会和連携し介護予防事業を開催した。

地区	事業	内容	実施日
三吉地区社会福祉協議会	グラウンドゴルフ教室	世代間交流をかねて実施	11/4
東桂地区社会福祉協議会	第20回まちづくり文化祭・東桂	健康運動指導士による健康体操を実施するとともに、健康グッズを配り、使用法の指導を受ける。	11/12
宝地域協働のまちづくり推進会	ふれあい事業	チェアエクササイズ（いつまでも元気に過ごせるために！）と口腔ケア（健康維持や口腔機能向上）を開催	11/11
禾生地区社会福祉協議会	ふれあい福祉集会	生活習慣病や健康について考えることで、健康で安心して暮らしていけることを目的とし、言語聴覚士を招いて、「お口の健康」について学ぶ	3/27
盛里地域協働のまちづくり推進会	都留市地域ふれあい健康事業	演奏や余興を通じてお互いの交流、家に閉じこもりがちな方々の社交の場、憩いの場として、高齢者の安心安全な生活環境、健康への意識向上を目的として開催	10/1

事業名	事業の具体的内容と目的
おでかけ元気促進事業 (2-8-28)	早期の介護予防活動の推進と互惠共生社会の促進を図るため、自治会等（団体）が自主的・主体的に実施する、ふれあいきいきサロンに対して、物品購入等サロンの整備を行うことを目的とする。 1団体10万円を上限とする。

#### 事業実績

事業対象者は、サロンを年12回以上実施する団体（自治会等）。

事業名	事業の具体的内容と目的
福祉バス(みどり号) 運営事業 (1-1-8)	老人クラブ、福祉団体、ボランティア団体など(福祉バス使用規程)の社会福祉活動の利便をはかることを目的とし、福祉バスを運行する。
<b>事業実績</b>	
福祉バス(みどり号)の運行 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 単位老人クラブの送迎 年 132 回</li> <li>・ 各種福祉団体の送迎 年 7 回</li> </ul>	
事業名	事業の具体的内容と目的
善意銀行事業 (2-6-22) (3-12-59)	都留市の社会福祉事業の推進を図ることを目的とする。 善意銀行の業務を行う。
<b>事業実績</b>	
物品預託 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 物品 : : 198 件 プルタブ・ペットボトルキャップ・使用済み切手・インクカートリッジ等</li> <li>・ 社協だより(つるの福祉)へ随時掲載</li> </ul> 金品払出、物品払出 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 寄付金 : 843,012 円</li> <li>・ つるっこプロジェクト 30,000 円、ふらっと食堂 20,000 円を払い出し</li> <li>・ 物品 : 米、綿、着物、端切れ、タオル等</li> </ul>	
事業名	事業の具体的内容と目的
社会福祉基金事業	個人及び企業・団体等から受ける寄付金を積み立て、都留市の社会福祉事業の推進を図ることを目的とする。
<b>事業実績</b>	
令和 5 年度地域福祉活動計画事業経費として、161,348 円を取り崩した。 福祉バザー売り上げ一部 243,235 円、善意銀行寄付金一部 790,920 円の合計 1,034,155 円を積立	

事業名	事業の具体的内容と目的
生活支援体制整備事業	日常生活上を送る上で支援が必要な高齢者が、住み慣れた地域で生きがいを持って在宅生活を継続していくために必要となる多様な主体による多様な生活支援サービスの提供体制を構築するため、生活支援コーディネーター（地域支え合い推進員）及び就労的活動支援コーディネーター（就労的活動支援員）を配置し、市全域の生活支援サービスの開発や普及、さらに基盤整備を推進する第1層生活支援コーディネーターと連携を図りながら、市全域における支援ニーズとサービスのコーディネート機能を担い、生活支援サービスを提供する事業主体と連携して支援体制の充実・強化及び高齢者の社会参加の促進を一体的に図ることを目的とする。

### 事業実績

生活支援サービスのコーディネート等に関する業務

① 地域福祉研究事業 生きがい買い物ツアーモデル事業

・実証実験 モデル地区：開地 期間：令和5年11月～令和6年10月まで  
 買い物弱者と呼ばれる高齢者に焦点を当て、日常生活を営む上で最低限必要な買い物のための移動手段をどの様に提供することが可能か、また、そのコストと支援がどの程度必要になるのか「生きがい買い物ツアーモデル事業」と称した実証実験を開地地区社協の協力を得て実施

開地地区社協との打合せ 年5回

買い物ツアー 計5回実施 11月～3月（月1回第2月曜日）

申込者11名 延べ参加者22名

開催月	11月	12月	1月	2月	3月	延べ参加者数
参加者数	7	5	3	3	4	22

② 通いの場支援会議（長寿介護課、社協） 年13回

③ 開地地区定例会参加 年5回

実態把握、見守り方法について検討、通所・つどいの場企画

④ 有償在宅福祉サービス ささえあい・ホットサービス都留

生活支援ニーズと支援できる人とのマッチング

草取り、掃除、ゴミ出し等の生活支援 107回

支援内容	回数
日常的な住居等の清掃、整理整頓	13
大掃除、粗大ごみの片付け、ゴミ出し	61
庭の草取り、庭木の剪定	33
合計	107

⑤ ふとん丸洗い事業を通じた地域の実態把握

民生委員の協力の元、在宅で65歳以上の単身世帯、高齢者のみの世帯に属する高齢者であって、老衰、心身の障害及び疾病等の理由により寝具類等の衛生管理が困難な方や、寝具類等の衛生管理が困難な方を対象として、寝具の衛生管理のため、布団丸洗いを年3回、8月、12月、3月に実施。安否確認を兼ねて高齢者宅を訪問し、地域の実態把握を行う。  
 利用者延べ61名

⑥ 善意銀行事業による食料支援

市民、企業、団体から寄付を受けた食料（お米）を生活に困窮する世帯に繋げる支援36件

⑦ ふれあい・いきいきサロン活動の支援

在宅の高齢者が気軽に集いお互いに交流を深め、地域の人たちとのふれあいの輪を広げると共に皆で支えあう地域づくりを目指し、身近な地域を拠点に、住民である高齢者とボランティアとが、それぞれの興味や関心に合わせて協働で企画をし、共に運営する仲間づくりの場をつくり、早期の介護予防活動の推進と地域ボランティア活動の促進を図ることを目的として、身近な地域におけるふれあい・いきいきサロン活動を推進する

・ふれあい・いきいきサロン活動

市内25か所 実施回数268回 延べ参加者4,958名

・ふれあい・いきいきサロン交流会 10月13日



保健師による健康講話、地域活性化起業人に体操教室、サロン同士の交流を行い、意見交換、情報交換を行う 参加者6団体

- ⑧ 多世代交流・食育活動・子育て支援  
共同菜園ボランティア畑楽もん、健康子育て課と連携し、健康子育て課のすくすく教室・のびのび教室開催時に、野菜の収穫体験を実施し、子育て世代と高齢者世代の交流を図る
- ・7月4・5日 夏野菜収穫体験（なす、ピーマン等）
  - ・10月25日 親子deさつまいもほり体験（さいまいも、だいこん）  
延べ68人参加
- ⑨ ゴミ拾い×多世代交流×地域活性化 「クリーンレバレッジツル！ゴミ拾いで地域活性化」  
大学生、地域住民、企業等が集まり、健康科学大学周辺のゴミ拾いを行う。  
8月22日 健康科学大学都留キャンパス周辺 参加者41名
- ⑩ 第16回高校生災害ボランティアスクール 9月22日  
谷村地域協働のまちづくり推進会、都留興譲館高等学校等と連携 参加者500名
- ⑪ 第42回都留市社会福祉大会において、諏訪中央病院の高木宏明氏を招き、  
「このまちで最期までわたしらしく生きるために」と題した講演会を開催 参加者129名
- ⑫ 第28回福祉医療健康講座 11月12日  
山梨大学医学部から講師を招き、市民に向けた健康講座を開催  
「with corona時代の私たち」 参加者33名
- ⑬ 歳末たすけあい事業 12月～末日まで  
民生委員の協力の元、80歳以上のひとり暮らし高齢者やねたきり高齢者に対して、一人3千円を贈呈し、歳末の買物の一助にもらうとともに、高齢者の安否確認を行い、地域の実態把握を行う。 対象者478名
- ⑭ 都留市ボランティア連絡会の支援  
生きがいに繋がるボランティア活動の推進を支援  
総会年1回 理事会年5回 交流会年2回
- ・第1回都留市ボランティア連絡会交流会 2月18日 武蔵野大学の渡邊裕一氏を招き、「ボランティアのつながり」と題した講演や、ボランティア団体同士の交流・つながりの場づくりを行う 参加者28名
  - ・第2回都留市ボランティア連絡会交流会 3月14日 ボランティア団体間の交流と他者理解を深める。他のボランティア団体の活動を体験する。困りごとを共有し、お互いの持つ力を共有
- ⑮ 老人の幸せの里事業による高齢者の生きがいづくり支援  
高齢者の生きがいづくりとして、各教室（民謡・詩吟・舞踊・大正琴・歌謡・囲碁・将棋・能楽）を開催し、介護予防や引きこもり防止につなげることを目的とする。  
また、一年の活動の成果を発表する場として「ふるさと祭りおさらい会」を開催する。
- ・ふるさと祭りおさらい会 3月15日  
老人クラブの各教室（民謡・詩吟・舞踊・大正琴・歌謡・囲碁・将棋・能楽）と単位老人クラブの会員による発表会 参加者84人

#### 協議体設置に関する業務

##### 協議体活動の支援

- ① 地域の生活課題の共有・解決方法について協議
  - ・開地地区第2層協議体（買い物弱者対策支援について年5回）
- ② 地域ふれあい健康事業を通じた健康増進支援（協働のまちづくり支援含む）
  - ・三吉地区第2層協議体 11/14 多世代交流を兼ねてグラウンドゴルフ教室を開催
  - ・東桂地区第2層協議体 11/12 文化祭において健康指導士による体操等
  - ・禾生地区第2層協議体会議 3/27 ふれあい福祉集会において口腔ケア「お口の健康」について学ぶ

#### (3) サービス・支援の担い手となるボランティア等の養成に関する業務

- ① 介護支援ボランティア 新規登録5名 登録者計107名

事業名	事業の具体的内容と目的
障害者等相談支援事業	障害者等の福祉に関する各般の問題につき、障がい者等からの相談に応じ、必要な情報の提供及び助言その他の障害福祉サービスの利用支援等、必要な支援を行うとともに、虐待の防止及びその早期発見の為の関係機関との連絡調整その他の障害者等の権利擁護のために必要な援助（相談支援事業）を行うことを目的とする。

### 事業展開

#### 相談支援を利用している障害者等の人数

	実人員 (重複有り)	身体障害	重症心身 障害	知的障害	精神障害	発達障害	高次脳機 能障害	その他
障害者	20	2	0	5	13	0	0	0
障害児	0	0	0	0	0	0	0	0
計	20	2	0	5	13	0	0	0

#### 支援方法

	訪問	来所相談	同行	電話相談	電子メー ル	個別支援 会議	関係機関	その他	計
件数	76	39	26	112	0	17	124	18	412

#### 支援内容

	福祉サー ビスの利用等 に関する支 援	障害や病状 の理解に関 する支援	健康・医療に 関する支援	不安の解消・ 情緒安定に関 する支援	保育・教育に 関する支援	家族関係・人 間関係に関す る支援	家計・経済に 関する支援
件数	65	57	114	100	0	29	54
ピアカウンセラー	0	0	0	0	0	0	0

	生活技術に関 する支援	就労に関する 支援	社会参加・余 暇活動に関す る支援	権利擁護に関 する支援	その他	計
件数	74	14	13	5	44	569
ピアカウンセラー	0	0	0	0	0	0

事業名	事業の具体的内容と目的
特定相談支援・障害児相談支援事業	社会資源や福祉サービスなどを活用し、障がいのある方が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるように支援する事を目的とする。 障害福祉サービス等を申請した障がい者（児）について、サービス等利用計画の作成、及び支給決定後のサービス等利用計画の見直し（モニタリング）を行う。

### 事業実績

#### 相談支援を利用している障害者等の人数

	実人員 (重複有り)	身体障害	重症心身 障害	知的障害	精神障害	発達障害	高次脳機 能障害	その他
障害者	33	4	0	5	21	0	0	3
障害児	4	0	0	2	0	0	0	2
計	37	4	0	7	21	0	0	5

#### 支援内容（回）

	サービス利用支援	継続サービス利用支援
障害者	26	74
障害児	4	11
計	30	85

計画相談支援給付費（円）

障害者	1,016,570
障害児	98,560
計	115,130

令和5年度推移（人）

	新規利用	支援終了
障害者	7	9
障害児	0	0
計	7	9

研修等

相談支援専門員現任者研修（相談員1名）

事業名	事業の具体的内容と目的
法人後見事業 (2-5-20)	認知症高齢者、知的障害者及び精神障害者など意思決定が困難な人の判断能力を補うため、本会が成年後見人、保佐人または補助人（以下「成年後見人等」という。）となることにより、成年被後見人、被保佐人、被補助人、（以下「成年被後見人等」という。）の財産管理、身上監護を行い、その権利を擁護することを目的とする。

事業展開

法人後見等運営委員会の開催

- ・第1回運営委員会／令和5年7月21日（金）

経過報告

後見開始の審判事件について

法人後見事業相談内容について

受任件数 1件（成年後見人）

広報・周知活動

- ・都留市居宅介護支援事業所連絡会にて事業説明・情報発信 年1回

関係者との連携会議

- ・地域連携ネットワーク会議に参加 年3回

関係者が実施するアンケート調査に協力 年2回

相談援助業務

- ・相談件数 年3件

事業名	事業の具体的内容と目的
生活困窮者自立支援事業 (2-5-19)	現に経済的に困窮し、最低限度の生活を維持することができなくなるおそれのある者が、困窮状態から早期に脱却することを支援するため、本人の状況に応じた包括的かつ継続的な相談支援等を行うことを目的とする。

#### 事業展開

- (1) 自立相談支援  
生活や仕事に対する心配や悩みを抱えている人に対して、地域において自立した生活が行えるように無料で相談に応じ、その人が抱える様々な問題に対応する。
- (2) 一時生活支援  
住居のない生活困窮者に対して、一定期間衣食の提供を行う。
- (3) 住宅支援給付業務  
離職や廃業またはやむを得ない休業により収入が減少し、住宅の事で困っている人に対して住宅確保給付金を支給する

#### 総括表

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間合計
新規相談受付件数 (本人未特定を含む)	5	3	7	6	5	5	6	6	8	6	2	10	69
①評価実施件数中就 労支援対象プラン作 成者分	2	3	2	1	1	0	0	1	0	0	1	0	11
うち 一般就労開始	1	3	1	1	1	0	0	1	0	0	1	0	9

事業名	事業の具体的内容と目的
地域福祉研究事業 (2-7-26)	地域社会における今日的課題に対する調査研究や先駆的・試行的取組等を通じて、新たなサービスを開発し、地域福祉の向上を図ることを目的とする。

### 事業実績

○買い物支援についての調査研究

買い物弱者と呼ばれる高齢者に焦点を当て、日常生活を営む上で最低限必要な買い物のための移動手段をどの様に提供することが可能か、また、そのコストと支援がどの程度必要になるのか「生きがい買い物ツアーモデル事業」と称した実証実験を地区民生委員・児童委員協議会の協力を得て実施(生きがい買い物ツアーモデル事業内容)

【対象者】

開地地区にお住まいの、65歳以上の一人暮らし高齢者、高齢者のみ世帯及び障害をお持ちの方、かつ店舗内外の移動と金銭管理が自身で可能な方で、以下のいずれかに該当する方

- (1) 生活必需品の買い物に支障をきたしている方
- (2) 免許の返納を考えている方
- (3) 将来的に生活必需品の買い物に不安を感じている方
- (4) その他会長が認めた方

【実施期間】

令和5年11月から令和6年10月まで

【実施日】

毎月1回 第2月曜日(祝日の場合は第3月曜日)

【実施時間】

10時～13時

【買い物場所】

市内のスーパー、ドラッグストア等

【参加費】無料

【参加者数】

延べ参加者数 22名

	3月	2月	1月	12月	11月	延べ参加者数
参加者数	4	3	3	5	7	22

事業名	事業の具体的内容と目的
<b>都留市老人クラブ連合会事業(事務局)</b> (2-8-35)	高齢者の生きがい活動、健康づくり活動、仲間づくりなど、多彩な活動を進める老人クラブ活動を事務局として支援し、高齢者が中心となって地域で支えあう基盤づくりを進め、安心して暮らせるまちづくりをつくることを目的とする。
<b>事業実績</b>	
<p>1 組織の活発な運営と連絡調整</p> <p>(1) 連合会の活動推進            都留市老人クラブ連合会の事業活動の合理的運営を図るため、各種会議を開催した。理事会年4回、定期総年1回、会長会議年1回、女性委員会年1回、幹部会議年1回</p> <p>(2) 老人クラブの育成指導            県老連主催の市町村リーダー研修会に参加した。年1回 参加者3名</p> <p>(3) 女性委員会の活動推進            県老連主催のリーダー研修会に参加した。年1回 参加者16名</p> <p>2 老人クラブ活動広報啓発の推進</p> <p>(1) 都留市老人クラブ連合会愛称の活用            愛称「つるの笑輪会」を、令和5年4月1日より使用し、積極的に老人クラブのPR活動を行った。</p> <p>(2) 会員の増強運動            都留市老人クラブ連合会の各種会議の折に、会員増強運動について呼びかけを行った。</p> <p>(3) つるの福祉へ記事掲載            都留市老人クラブ連合会の諸事業について、社協だより「つるの福祉」に随時情報を掲載した。年4回</p> <p>(4) インスタグラム(写真等を投稿できるインターネット上のサービス)へ記事投稿            年2回(第43回ふれあいゲートボール大会、山梨県シルバー作品展)</p> <p>3 社会奉仕活動事業</p> <p>(1) 「全国一斉社会奉仕の日」            環境美化運動の日(9月20日)を中心に、各单位老人クラブにおいて、神社や道路、公民館等の清掃活動を実施した。実施クラブ21クラブ 参加者 延べ1,041名</p> <p>(2) 清掃奉仕活動            各单位老人クラブにおいて、年間を通して、地区内各所の清掃奉仕活動を実施した。実施クラブ21クラブ 参加者 延べ1,041名</p> <p>(3) 花いっぱい運動            各单位老人クラブにおいて、花いっぱい運動を実施した。実施クラブ9クラブ 参加者 延べ 213名</p> <p>(4) 一円玉募金運動            連合会の特別な事業に備え、昨年に引き続き一円玉募金運動を実施しました。            &lt;収入&gt; 単位老人クラブ等募金額 28,155円 預金利子16円 合計28,171円</p> <p>(5) 友愛訪問活動事業            市内の一人暮らしで虚弱な高齢者を対象に、単位老人クラブごとに訪問、安否確認や話し相手になるなど、友愛訪問活動を実施した。</p> <p>(6) 共同募金運動への協力            街頭募金に協力した。年2回 参加者 延べ2名</p> <p>4 福祉活動推進事業</p> <p>(1) 第62回山梨県老人福祉大会へ参加 山梨県知事表彰1名、山梨県老連会長表彰1名</p> <p>(2) 第42回都留市社会福祉大会へ参加 市長表彰3名 市社協会長表彰2名 市老連会長表彰5名</p> <p>5 文化・教養活動事業</p> <p>(1) 市老連旅行</p>	

旅行期日 令和5年10月17日・18日 参加者63名（バス2台）

コース どうする家康岡崎大河ドラマ館徳川ゆかりの地めぐりと三河三谷温泉2日間

(2) 令和5年度東部地域高齢者作品展の開催

令和6年2月6日から8日に開催された、令和5年度東部地域高齢者作品展（会場：上野原市文化ホール 多目的ホール）に多数の作品を出展した。出展数27点 出展者数15名

また、前年度（令和4年度）優秀作品7点は、令和5年6月16日～18日に開催された山梨県シルバー作品展に出展され、2名が入賞した。

(3) 都留市博物館ミュージアム都留「冬季企画展森嶋其進」の観覧

会期 令和5年12月9日～令和6年2月25日 参加者4クラブ 参加者 延べ42名

6 芸能・趣味活動事業

(1) 老人のしあわせの里づくり事業（市社協事業）

高齢者の生きがいづくり、社会参加のため、8教室（民謡・詩吟・舞踊・囲碁・将棋・大正琴・歌謡・能楽）が自主的に実施された。年148回 参加者 延べ997名

(2) ふるさと祭りおさらい会の開催

令和6年3月15日 参加者84名（出演者43名 観覧者41名）

7 健康づくり活動の増進

(1) 第16回グラウンド・ゴルフ大会へ参加 令和5年10月4日 参加者 2チーム12名

(2) 令和5年度健康づくりリーダー研修会へ参加 令和5年7月6日 参加者 3名

8 ゲートボールの推進

(1) ふれあいゲートボール大会の実施

令和5年6月5日 参加チーム数3チーム 参加者15名

(2) いきいき山梨ねんりんピック2023へ参加

第40回山梨県シニアゲートボール大会（県老連主催） 都留市代表2チーム 参加者11名

## 介護サービス事業

事業名	事業の具体的内容と目的
<b>居宅介護支援事業（介護保険事業・介護予防事業・認定調査）</b>  (2-8-38)	<b>目的</b> ：要介護、要支援状態等にある利用者に対し、適正な居宅介護支援を提供する事を目的とする。 <b>事業内容</b> ：利用者が、要介護状態等にあっても、可能な限り居宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活を営む事が出来るように配慮し、利用者の選択に基づき、適切な保健医療サービス、福祉サービスが、多様な事業者から、総合的かつ効率的に提供されるよう、公正中立な居宅介護支援を行う。 新しい社会資源開発に向けて地域ニーズ、実態把握を目的とし地域にニーズをキャッチし地域の生活課題として提起を行う。
<b>事業実績</b>	
(1) 利用者が可能な限り、その居宅において自立した日常生活を営む事ができるよう、適切な居宅サービスや施設サービスが利用できるようなケアプランを作成した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・延べ利用人数 1,701名</li> <li>・月平均ケアプラン作成件数 141.7件</li> <li>・ケアマネ1人当たり件数 35.4件</li> </ul> (2) 認定調査の実施 29件  (3) 居宅介護支援事業所連絡会・介護サービス事業所合同学習会へ出席し、市内の他事業所や行政と連携・連絡を密にするほか事業所内での事例検討会を開催、各種研修会等に参加した。	
事業名	事業の具体的内容と目的
<b>訪問入浴介護事業</b>  (2-8-39)	自宅へ訪問し、要介護状態にある利用者に対し、入浴介護を提供する。
<b>事業実績</b>	
利用者が自宅で、安心してゆっくりと入浴ができるように援助を行った。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・延べ利用人数 : 262名</li> <li>・月平均利用数 : 21.8件</li> </ul>	
事業名	事業の具体的内容と目的
<b>訪問介護事業</b>	要介護者、要支援者等を対象に、在宅での自立支援の為に、身体介護及び生活支援サービスの提供を行い、在宅福祉の充実を図る事を目的とする。
<b>事業実績</b>	
要介護状態にある高齢者に対して、心身の特性を踏まえて、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことが出来るよう、入浴、排泄、食事の介護その他の生活全般にわたる援助を図った。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・延べ利用人数 : 4,692名</li> <li>・延べ訪問時間 : 3738時間55分</li> </ul>	



事業名	事業の具体的内容と目的
介護予防軽度生活支援事業 (2-8-32)	65歳以上の独居虚弱高齢者及び虚弱高齢者の世帯を対象に介護認定に関わらず、軽易な日常生活上の援助を行い、自立を支援する事を目的とする。
事業実績	
利用者なし	
事業名	事業の具体的内容と目的
介護予防・日常生活支援総合事業 (訪問介護) (2-8-41)	訪問介護事業者として要支援・事業対象者の在宅での自立支援のために身体介護及び生活支援サービスの提供を行い、在宅福祉の充実を図ることを目的とする。
事業実績	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 延べ利用人数 : 151 名</li> <li>・ 延べ訪問時間 : 151 時間</li> </ul>	
事業名	事業の具体的内容と目的
通所介護事業 (2-8-42)	<p>要介護者、要支援者等の心身の特性を踏まえ、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、必要な日常生活上の援助及び機能訓練を行うことを目的とする。</p> <p>送迎、バイタルチェック、入浴支援、昼食の提供、体操、レクリエーション、作業療法、外出行事、保育所・幼稚園・小中高大学生やボランティア団体と交流の機会を設け、地域住民との関わりを持ちながらサービスを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 介護者の負担の軽減を図る。(介護離職の防止など)</li> </ul>
事業実績	
<p>要介護状態にある高齢者に対して、心身の特性を踏まえて、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことが出来るよう、必要な日常生活上の援助及び機能訓練を行うなど適切なサービスを提供した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 営業日 308 日</li> <li>・ 延べ利用人数 7,066 名</li> <li>・ 1日平均 22.9 名</li> </ul>	
事業名	事業の具体的内容と目的
生きがい通所サービス事業 (2-8-33)	介護保険の認定で、“非該当”と認定された方を対象に、生きがいと社会参加を促進し、要介護状態になることを防ぐため、デイサービスを提供する。
事業実績	
利用者なし	
事業名	事業の具体的内容と目的
重度障害者訪問入浴事業 (2-9-51)	地域における身体障害者の生活を支援する為、居宅において入浴する事が困難な身体障害者に対しての入浴サービスを提供する。
事業実績	
利用者なし	

事業名	事業の具体的内容と目的
<b>介護予防・日常生活支援総合事業（通所介護）</b> (2-8-43)	<p>利用者が可能な限り在宅において要支援状態の維持、改善を図り、要介護状態になることを予防し、自立した日常生活を営むことを継続していくことを目的とする。</p> <p>送迎、入浴、体操、レクリエーション、リハビリ、昼食、生活相談など。心身に沿ったサービス提供を行う。</p>
<b>事業実績</b>	
<p>要支援1相当又は2相当の状態にある利用者に対して、自立した日常生活を営むことが出来るよう必要な日常生活上の支援及び機能訓練を行うことにより、利用者の心身機能の維持・改善及び利用者の自立の可能性を最大限引き出す支援を行い、機能訓練等の予防介護その他適切なサービスを提供した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・営業日 308日</li> <li>・延べ利用人数 246名</li> <li>・1日平均 0.7名</li> </ul>	
事業名	事業の具体的内容と目的
<b>自立支援居宅介護事業（居宅介護、行動援護、重度訪問介護、同行援護）</b> (2-9-52)	<p>利用者が居宅において日常生活を営む事が出来るよう、身体その他の状況及びその置かれている環境に応じて、入浴・排泄及び食事等の介護・調理・洗濯及び掃除等の家事・生活等の相談・助言、その他生活全般にわたる援助を行う事を目的とする。</p> <p>障害者総合支援法に基づいて事業を提供する。(身体障害者・知的障害者・児童・精神障害者)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・視覚障害者を対象に同行援護（移動に必要な情報の提供や移動の援護、介護等）を実施する。</li> </ul> <p>キャリアアップのための研修に参加する。</p>
<b>事業実績</b>	
<p>障害者の在宅での生活を支援するため、居宅生活支援事業（ホームヘルプサービス）を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・精神障害者：631名（712時間45分）</li> <li>・身体障害者：847名（639時間45分）</li> <li>・知的障害者：773名（851時間30分）</li> <li>・児童：0名（0時間）</li> </ul>	
事業名	事業の具体的内容と目的
<b>障害者移動支援事業</b> (2-9-53)	<p>障がい者の方々が地域において自立した生活ができるよう、都留市より事業認定を受け、買物の移動や行事への参加や余暇活動への参加等様々な活動に対する移動支援を行う事を目的とする。</p>
<b>事業実績</b>	
<p>障害者の方々が地域において自立した生活ができるよう、買物時の移動、余暇活動の参加等様々な生活支援を提供した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・延べ利用人数：6名</li> <li>・延べ利用時間：4時間30分</li> </ul>	

事業名	事業の具体的内容と目的
<b>基準該当生活介護事業</b> (2-9-54)	<p>障害者総合支援法に基づき、障害区分認定を受けた身体障害者、知的障害者、精神障害者に対し、高齢者のデイサービス（介護保険）と同様なサービス（送迎・バイタルチェック・入浴支援・昼食の提供・体操やレクリエーション）を提供し、障害を持った方もできる限り地域において自立した日常生活を営むことができるよう在宅福祉の充実を図ることを目的とする。</p> <p>社会的孤立を解消し、心身機能の維持と向上を図る。            介護者の負担の軽減を図る。（介護離職の防止など）</p>
<b>事業実績</b>	
<p>利用者ができる限り自立した日常生活を営むことができるよう基準該当生活介護（デイサービス）を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 営業日            308 日</li> <li>・ 延べ利用人数   243 名</li> <li>・ 1 日平均         0.7 名</li> </ul>	
事業名	事業の具体的内容と目的
<b>養育支援訪問事業</b> (2-6-24)	<p>子育てしやすい環境の構築を図るため、家族等の援助が受けられない子育て家庭等に対し、「子育て応援ヘルパー」を派遣し、育児や家事を援助することを目的とする。</p>
<b>事業実績</b>	
<p>子供のお世話や掃除等、育児や家事の援助を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 延べ利用人数：16 名</li> <li>・ 延べ利用時間：16 時間</li> </ul>	